



## ココに注目!

豪雨災害を乗り越えて《東峰見聞録》 P2

補正予算 ここに注目!《トピックス》 P8

どげんなっちゃうと? 《一般質問》 P10

豪雨災害を乗り越えて  
移住者から見た災害



4年前に村に移住されてきた、児島謹治さん(67)、千鶴さん(65)ご夫婦(竹地区)にお話を伺いました。移住から3年が経過した平成29年7月、自宅にて豪雨災害を経験されました。今回は移住者から見た災害についてお聴きしました。

**なぜ移住しようと思われたのですか？**

以前は古賀市で仕事をしておりましたが喘息を患い、それがきっかけで空気がきれいな所を探しました。

**東峰村移住の決め手は？**

熊本県西原村、阿蘇や由布院なども検討していた中で、東峰村の空き家に出会いました。東峰村は、空気や水もきれいで、家の近くに神社の鳥居があったので防災上も大丈夫かと思いい移住を決めました。

**災害後、別の地域への移住は考えなかつたですか？**

家が大きく壊れたりしたら考えたかもしれませんが、今は他地域への移住は考えていません。

**災害後に今後の備えは何かされましたか？**

非常用のバッグを玄関に近いところに置いてあります。九州大学のまち歩きで三谷教授からここは準危険地域だと言われたので、早めの避難を心がけています。

**移住されて体調の変化はありましたか？**

おかげで喘息はだいぶよくなりました。また、毎朝と夕方は運動として散歩もしています。

**散歩のおすすめスポットはありますか？**

2月と10月頃に自宅の横にある岩屋神社参道の上から下の鳥居にかけて一直線に夕陽が射すのです(写真)。ぜひ皆さんにこの

**平成29年の豪雨はどうでしたか？**

当日はしばらく川の様子や周りを見ていました。屋根で家が流された地域の方から聞いて、岩屋神社の社務所に避難しました。

翌日には自衛隊の大型ヘリで避難しました。日田に到着したのですが、受け入れ体制がなく、その日のうちに村民センターまで帰ってきました。

**どのようにご自分の安否は伝えられましたか？**

村外の友人が、「東峰村で60代の夫婦が行方不明」という情報をテレビで見て、心配されていたそうです。災害当日、熊谷工作所の従業員のほうが避難者名簿を写真で撮り、SNSに投稿してくれました。それを見た友人の息子さんからの連絡で、安否がわかったそうです。

参道を通っていただきたいなと思います。

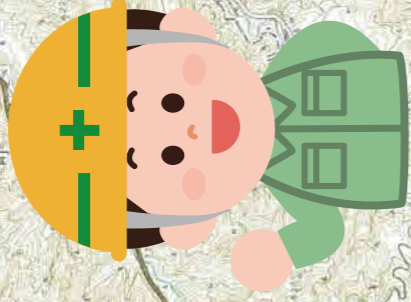


児島さんご夫婦のような視点をうまく活かして、観光立村を考えていかなければと思いました。(議員)

大きな災害時には、SNSを活用した情報伝達の必要性を改めて感じました。また、移住者の方にも安心して住める村づくりを進めてまいります。

# 工事はどこまで進んだか？

## 復旧への道のり（公共災）



少しずつ工事は進んでいます。  
 □は工事完了箇所です。



宝ヶ谷（小石原南）



一本松（中原）



古城原（西福井）

### 道路・河川・橋梁災害復旧事業工事箇所（村工事）

凡例

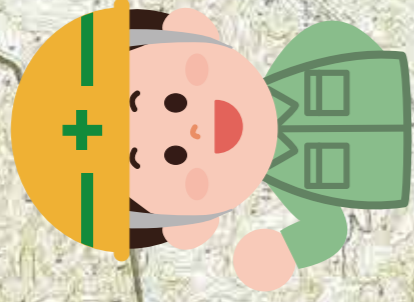
平成30年12月末現在

|    | 完了   | 発注済  | 未発注  | 合計    |
|----|------|------|------|-------|
| 道路 | 8箇所  | 13箇所 | 19箇所 | 40箇所  |
| 河川 | 7箇所  | 29箇所 | 34箇所 | 70箇所  |
| 橋梁 | 0箇所  | 0箇所  | 5箇所  | 5箇所   |
| 計  | 15箇所 | 42箇所 | 58箇所 | 115箇所 |

掲載箇所について、詳しくはこの番号で役場 災害対策室 72-8011（公共災）までお問い合わせください。

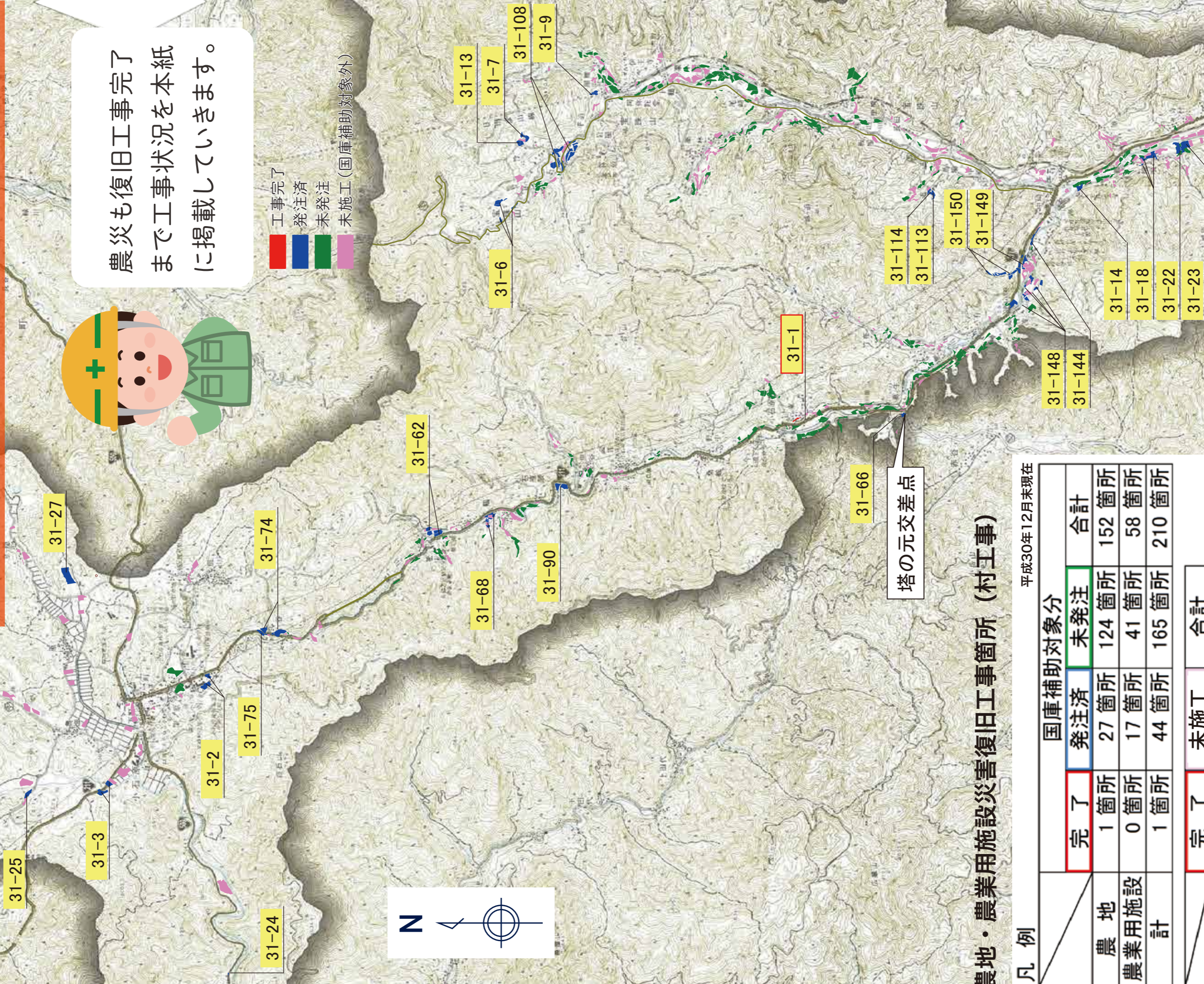
# 工事はどこまで進んだか？

## 復旧への道のり（震災）



震災も復旧工事完了  
まで工事状況を本紙  
に掲載していきます。

- 工事完了
- 発注済
- 未発注
- 未施工 (国庫補助対象外)



### 農地・農業用施設災害復旧工事箇所（村工事）

平成30年12月末現在

|       | 国庫補助対象分 |      |       | 合計    |
|-------|---------|------|-------|-------|
|       | 完了      | 発注済  | 未発注   |       |
| 農地    | 1箇所     | 27箇所 | 124箇所 | 152箇所 |
| 農業用施設 | 0箇所     | 17箇所 | 41箇所  | 58箇所  |
| 計     | 1箇所     | 44箇所 | 165箇所 | 210箇所 |

| 国庫補助対象外 | 完了  | 未施工   | 合計    |
|---------|-----|-------|-------|
|         | 0箇所 | 688箇所 | 688箇所 |

※図面は農地を示しています。  
自力復旧などにより、既に完了した農地もありますが、現在完了箇所は精査中です。  
掲載箇所について、詳しくはこの番号で役場 災害対策室72-8013(震災)までお問い合わせください。

# 12月定例会 トピックス 補正予算 ここに注目!

平成30年度12月定例会を12月11日から18日の会期にて開催しました。条例制定1件、条例改正2件、補正予算3件(一般会計、特別会計)、議員発議5件を慎重審議し、議員発議1件を除き原案のとおり可決しました。また、7人の議員が一般質問を行いました。

## 第9回臨時会(10月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

| 区分 | 審議結果 | 議案一覧                    | 伊藤均 | 大蔵久徳 | 長澤貞義 | 高倉寛視 | 高橋弘展 | 泉守 | 黒川隆康 | 梶原光春 | 梶原伯夫 |
|----|------|-------------------------|-----|------|------|------|------|----|------|------|------|
| 契約 | 可決   | 物件購入契約の締結について(小型消防車両3台) | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |

## 第10回臨時会(11月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

| 区分   | 審議結果 | 議案一覧                           | 伊藤均 | 大蔵久徳 | 長澤貞義 | 高倉寛視 | 高橋弘展 | 泉守 | 黒川隆康 | 梶原光春 | 梶原伯夫 |
|------|------|--------------------------------|-----|------|------|------|------|----|------|------|------|
| 補正予算 | 可決   | 平成30年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第4号)について | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | -  | ○    | ○    | ○    |
| 契約   | 可決   | 工事請負契約の締結について(戸有地区がけ崩れ対策工事)    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | -  | ○    | ○    | ○    |


## 第11回定例会(12月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-


| 区分   | 審議結果 | 議案一覧  | 伊藤均 | 大蔵久徳 | 長澤貞義 | 高倉寛視 | 高橋弘展 | 泉守 | 黒川隆康 | 梶原光春 | 梶原伯夫 |
|------|------|---|-----|------|------|------|------|----|------|------|------|
| 補正予算 | 可決   | 平成30年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について【P8へ】                         | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
|      | 可決   | 平成30年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について                        | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
|      | 可決   | 平成30年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について                      | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
| 条例   | 可決   | 東峰村残土処理場の設置及び管理に関する条例の制定について                                | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
|      | 可決   | 東峰村ケーブルテレビ施設条例の一部を改正する条例の制定について                             | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
|      | 可決   | 東峰村一般職の職員の給与に関する条例及び東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
| 議員発議 | 可決   | 国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書について                           | ○   | ○    | ○    | ●    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
|      | 可決   | JR日田彦山線の早期全面復旧と長期的な運行の確保を求める決議について【P16へ】                    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
|      | 可決   | 地方創生検証特別委員会の設置に関する決議案の提出について                                | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ○    | ○    | ○    |
|      | 可決   | 高倉寛視議員に対する議員辞職勧告決議について【P8へ】                                 | ○   | ●    | ●    | ○    | ●    | ○  | ○    | ○    | ○    |
|      | 否決   | 佐々木紀嘉議長の問責決議案について【P8へ】                                      | ※   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○  | ●    | ●    | ●    |

※同数により採決権を用いて副議長が否決しました。

復興プレミアム商品券  
**361万円**




東峰学園エアコン設置  
**4730万円**



補正予算の主な追加分

宝珠の郷空調改修等  
**1065万円**



全クラス教室に加え、特別教室・準備室合わせて18教室に設置予定

**補正予算**  
東峰学園空調設置や復興商品券補助を追加  
一般会計予算は1億664万3千円を追加し、総額59億9106万9千円となりました。

### 佐々木紀嘉議長の問責決議案を否決

大蔵議員、長澤議員から議長問責決議案が提出されました。

#### 提案理由

公平かつ公正な議会運営及び中立公正であるべき職務遂行をされないため。

採決の結果、賛成4、反対4となり、地方自治法第116条第1項の規定より、副議長が裁決権を用いて否決されました。

※佐々木議長は議案該当者であるので除斥となり、副議長が議事進行しました。

### 議会ふしぎ発見!

議員辞職勧告や問責決議案が可決されるとどうなるの?

A 議場にて議長より勧告されるが、法的拘束力はない。

### 高倉寛視議員に対する議員辞職勧告決議案を可決

泉議員、梶原伯夫議員から高倉議員への辞職勧告決議案が提出されました。

#### 提案理由

12月3日に高倉議員より提出された議会への申出書は議会を脅しととれる文面であり、議員としての品位、議会の権威を著しくおとしめるものである。

- Q 内容について高倉議員に尋ねたか。
- A 高倉議員とは話していない。
- Q 「議会がおとしめられる」根拠は。
- A 自分で判断する限り脅しととれると理解。
- Q 議員間で議論はできなかったのか。
- A 各々の考え方が違う。

採決の結果、賛成5、反対3で可決されました。

※高倉議員は議案該当者であるので除斥(審議に加わらず退場)。

#### 反対

**大蔵** 「脅しととれる」は取り方によって違う場合もある。本人に弁明の機会も与えないまま辞職勧告を出すことに反対。

**高橋** 災害復旧がこれからという時に決議案が唐突に出てくるとは、「議会は何をやっているんだ」と住民に思われる。議会内で解決していく問題。

**長澤** 辞職勧告に至らなくてもいい問題。

#### 賛成

**梶原伯夫** この説明文で十分である。

**黒川** 高倉議員の言動をかえりみて総合的に考慮し賛成。

# どげんなっちゃうと?

## 一般質問

1. 梶原 伯夫 議員  
災害後の職員の健康管理は
2. 黒川 隆康 議員  
民有林における災害倒木の処理は
3. 高橋 弘展 議員  
集落内を通る小さい河川はいつ復旧されるのか
4. 伊藤 均 議員  
地区担当職員を配置する目的は何か
5. 梶原 光春 議員  
日田彦山線の具体的な工事の協議は
6. 長澤 貞義 議員  
ゲストハウス工事の入札不調の原因は
7. 高倉 寛視 議員  
災害ボランティアの考えを利用しては



**災害後の職員の健康管理は**  
— 村長 管理職が健康状態を把握している

議員 災害後の職員の健康状態は、心のケアを含めてどう管理しているのか。

村長 管理職が健康状態を把握している。その中でも職員はストレスを感じているので、メンタルヘルスを行っている。

総務課長 朝倉保健福祉環境事務所と災害直後から打合せしている。健康相談、健康セミナー、直接の面談等も行い、把握している。目配り、気配り、助言、サポート等を今後も行っていく。

### 文化財の管理状況と観光利用

議員 文化財の管理状況と、観光への利用施策は。

教育長 整理が追いついていない。展示場所等も考えて、観光にも使えるものを選び出して利用していきたい。



災害工事業者の選定について  
議員 法面工事の業者の選定はどのようにしているか。  
村長 条例に則り厳正かつ公平、適正に選定している。



**民有林における災害倒木の処理は**  
— 村長 村単独の事業で対応したい

議員 災害により発生した民有林の倒木の処理について、どの様に考えているのか。

村長 村単独の里山保全事業や小規模治山事業等に対応したい。

議員 村単独事業では補助額が小さく、個人負担が大きくなる。その他の公的支援や補助事業はないのか。

村長 現在のところ補助等はない。

議員 個人負担の削減のために、国や県等に要望する考えはないか。

村長 機会あるごとに県や県議会議員を通じて実情等は話しているが、支援についてはまだ未確定。今後、村としても山の価値が上がる政策を考えて行かなければならないと思うところ。



災害倒木

### ICT教育について

議員 東峰学園でのICT活用教育の今後の取り組みと課題を伺う。  
教育長 文科省にてICT化に向けた環境整備5か年計画に沿って取り組んでいる。課題は、①どの教室でも使えるWi-Fi環境の整備。②教師の研修。③セキュリティ対策。④教師の技量低下を防ぐ。⑤教育の一本化を防ぐ。

※1 ICT・・・コンピュータを使った情報処理や通信技術の総称。

※2 Wi-Fi(ワイファイ)・・・パソコンやスマホタブレットなどの機器を、無線接続する通信手段。



**集落内を通る小さい河川はいつ復旧されるのか**  
— 災害対策室長 実施設計が生まれ、これから発注

議員 単災、小災害の箇所、特に集落内を通っている小さい河川等に関してはいつ、どう復旧するのか。

災害対策室長 約60箇所が県及び財務支局の認可を受けている。地域住民へは何らかの機会でお知らせしたい。

議員 小さい河川等は原形復旧しても、ある程度の雨で溢れる。改良も含めて検討されているのか。

村長 壊れたところは、単災で行っていく。被災箇所を優先的に直すので、小さい河川改良まで至っていない。中小河川についても改修等は図っていききたい。当然村予算が必要なので、その辺りでどこまでやるかを判断せざるを得ない。

### 単災(※3)とは?

一般単独災害復旧事業の略。道路・河川等の公共施設に係る災害復旧事業のうち、国庫補助の対象とならなかった単独の事業。

### 小災害(※4)とは?

小規模災害復旧事業の略。1箇所あたりの工事費が、公共施設の場合60万円、農地等の場合40万円に満たない工事を対象とする事業。



伊藤 均 議員

### 地区担当職員を配置する目的は何か — 村長 地域と行政を結ぶ絆のために配置

**議員** 地区担当職員と地域との係わりには、何か規定したものはあるのか。

**村長** 活動としては、地区会合への出席・地区行事への参加・地区と役場の連絡調整等がある。地域と行政を結ぶ絆を目的として設置。

**議員** 職員の地区への係わりの意識が希薄になっているように見えるがどうか。

**村長** 地域と行政を結ぶ絆となれるよう周知徹底を図っていく。

**議員** 11月末での職員数は。

**総務課長** 一般職員54名、任期付職員5名、災害応援職員19名、嘱託・臨時職員が43名。

**議員** 災害の復旧復興が遅れている中、任期付職員等の契約期間終了後の雇用は。

**村長** 早期の災害復旧が雇用の



九州大学と協働で防災マップ作成

目的であるので延長も考えていく。

#### 防災マップと避難基準

**議員** 防災マップが作成されたが、災害警戒基準との連携は。

**村長** 防災マップ作成の目的は、地域の危険度と避難経路の把握のため作成した。災害警戒については、防災訓練等を通して一人の犠牲者も出さないよう取り組む。



長澤 貞義 議員

### ゲストハウス工事の入札不調の原因は — 村長 設計業者と建設業者の積算額のかい離

**議員** ゲストハウスの入札が不調となった原因は。

**村長** 一番の原因は、設計者と建設業者との積算額のかい離だと思ってる。

**議員** 31年3月までに完成出来なければ、補助金はどうなるのか。

**村長** 本事業は国の地方創生拠点整備交付金を使う予定だったが、今年度内に完成しなければ使えないので申請を取り下げることになる。

**議員** 設計事務所と村との責任はどう解決していくのか。

**村長** 責任問題は弁護士と設計事務所との関係についていろいろ相談している。しかし、なかなか立証的な問題等は厳しいのが現状である。



竹地区の再生予定古民家

#### 高齢者への灯油補助について

**議員** 寒い冬の時期となり、高齢者が気持ちに余裕を持って灯油ストーブを使用するように、灯油を村から補助出来ないか。

**村長** 現在のところ、村としてそういう考えは持っていない。



梶原 光春 議員

### 日田彦山線の具体的な工事の協議は — 村長 事務局レベルで5回行われている

**議員** 10月のJR青柳社長との会談後に、具体的な工事の自身は協議はなされたのか。

**村長** 事務局レベルで5回行われている。日田彦山線に限って継続的な運行について言及されることに対し、今後議題としていきたい。

#### 災害復旧工事について

**議員** 復旧工事の発注ペースと今後の見通しは。

**村長** 発注工事に落札できていないものがあるため、範囲を広げ随意契約できるところがあれば手法を考えていきたい。

**議員** 農地自力復旧の受益者負担割合を見直す考えは。

**村長** 見直す方向で進めたいと思っている。



筑前岩屋駅

**議員** 道幅が狭い場所にて大型工事車両との離合で問題が起きている。対策は考えているか。

**村長** 朝倉県土事務所長よりの提案で、各所に離合場所を設置する方向で進めている。

#### 復興住宅について

**議員** 仮設住宅の使用期間の終わる頃までに、中原の復興住宅は完成するのか。

**村長** 県も7月の完成にむけて努力したいと言っている。



高倉 寛規 議員

### 災害ボランティアの考えを利用しては — 村長 今後とも話を進めていきたい

**議員** 昨年からつづみの里にて、福岡の災害ボランティア団体が開設した無料カフェは村民の癒しの場所となり、秋祭りには団体からいろんな企画やアイデアも出された。この団体は東峰村の魅力在全国や世界に発信したいと話している。このような方たちがいることをどのように考えるか。

映像は英語の字幕がついているので、国内のみならず世界にも発信できると思う。この映像を譲り受けてでも、村からは紹介できなかったのか。

**村長** 現段階ではホームページや災害伝承館の映像として、利用していきたい。

**村長** 地域の活性化、村の活性化に有意義だと思う。年間計画等、事前に計画性のある形で提案をいただければ、対応の仕方があるので話をしていきたい。

**議員** 8月に岩屋神社で復興祈願祭を、多くの関係者と共に実施した。また、この岩屋神社をメインとしたビデオ『龍神からの伝言』を製作している。この



宝珠石祭 (大黒摩季さんコンサート)

### 被災後の2年目を研修



平成30年10月23日  
岩手県下閉伊(しもへい)郡岩泉町

被災後2年が経過し、現在の復旧・復興の取組状況と今後の課題について研修しました。

岩泉町では、復興まちづくり計画と題して、集落の形成・防災体制の強化・産業経済の再生を3つの柱とし、平成33年を目途とした復興計画を立てられています。

仮設住宅の供与期限は、災害救助法により設置から2年ですが、期限内退去が困難な世帯が多いため、県の予算により継続措置になっている状況でした。

激甚災害の期限である3年での復旧工事の完了は、岩泉町においても大変難しい状態でした。復旧に対しては、自治体がいかに腹をくくって取組むかを考えさせられた研修でした。

岩手県岩泉町は、平成28年8月に発生した台風10号による豪雨で被災しました。河川の氾濫や土砂災害により、死者24名、全壊家屋399件を含む820件の住宅被害が発生しました。公共施設・農業施設等の被害を合わせると総額で約421億円の被害額となりました。

### 議会がつくるケーブルテレビ番組

埼玉県狭山市議会を視察

10月10日、狭山市議会が放送するケーブルテレビ番組「with hyou市議会」について視察研修を行いました。

「もっと市民に議会を知ってもらいたい」との思いから、議員が自ら企画・演出はもとより、原稿作成やナレーション、撮影など、編集を除き市議会議員が全て行っています。放送するための編集方針は、

- ・議会だよりでは表現できない、ケーブルテレビならではの強みを生かす
- ・市民にとつての目玉となる情報を流す
- ・議会のより具体的な内容をお知らせする

等を基本としています。



狭山市議会視察研修

議会だより、ホームページ、ケーブルテレビの広報媒体を使うことで、すべての市民に議会の情報をもれなく発信すること。そして議会活動を知っていただき、「質の高い民意を集める」ことを広報の目的とされているそうです。

東峰村議会の広報も、議会だよりを中心とした多様な広報媒体の活用を、検討していきたいと思えます。

### 住民の安全や地域経済の早期回復を要望!

10月24日に議員9名及び村長で、福岡県選出及び災害復旧に関係する国会議員の方々に、「平成29年7月九州北部豪雨災害の復旧・復興に係る要望書」を手渡しました。臨時国会開会中につき、限られた時間での陳情でしたが、東峰村の復旧の状況説明とこれからの復興に向けての支援を要望してまいりました。

《陳情先》

- 原田義昭 衆議院議員
- 麻生太郎 衆議院議員
- 衛藤征士郎 衆議院議員
- 鬼木 誠 衆議院議員
- 藤丸 敏 衆議院議員
- 鳩山二郎 衆議院議員
- 松山政司 参議院議員
- 大家敏志 参議院議員
- 牧野たかお 参議院議員
- 足立敏之 参議院議員
- 古賀之士 参議院議員
- 自見はなこ 参議院議員
- 高瀬弘美 参議院議員

(順不同)



原田義昭衆議院事務所にて



衛藤征士郎衆議院事務所にて

### 全国町村議会広報研修会 読み手の目線で 考える広報紙づくり

10月9日に東京にて広報の研修を受けてきました。

- Ⅰ部「読み手に伝わる文章の書き方」
- Ⅱ部「デザインの手で、もっと伝わる議会広報誌に」
- Ⅲ部「最優秀賞及び優秀賞(総合2位)作に見る光彩を放つ編集力」

この三つを題目に3人の講師から講演を受けました。

Ⅰ部は、朝日新聞校閲事業部長の前田安正氏から、新聞記事を例に情報を正確に発信する必要性について話がありました。

Ⅱ部は、アートディレクター筒井美希氏から、読み手目線で考えるためのポイントを聞きました。興味を持つきっかけとなるキーワードを選び、強調する・自分達の言葉ではなく「読み手

の言葉」を意識して語る

Ⅲ部は、グラフィックデザイナー長岡光弘氏から、全国議会広報紙コンクールで優秀賞になった広報紙を例とした研修を受けました。

### 福岡県町村議会広報研修会 コンパクトで読みやすい 紙面として評価

11月14日、県市町村会館において、町村議会広報研修会が実施されました。

講師よりどのような議会広報が、皆さまに目を通して頂けるのか、色々な角度から指摘をいただきました。

当日は県内15町村の広報紙が講師から助言を受けました。

私たちの議会ウォッチも助言をしていただき、おおむね良くできていると評価していただきました。

これからも村民の皆さまに、愛される議会ウォッチを目指して頑張ります。





# JR日田彦山線の 早期全面復旧を要望!!

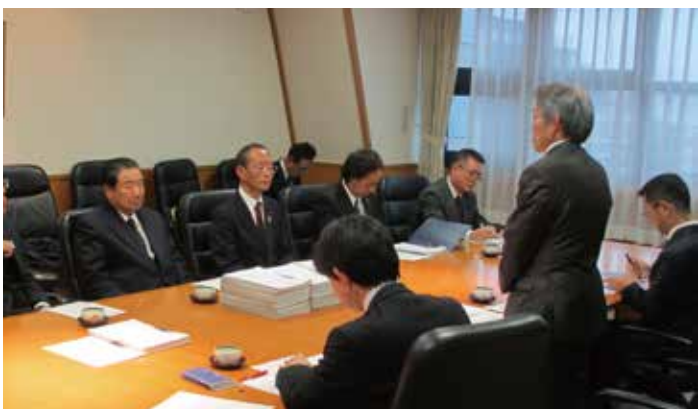
12月定例会にて「JR日田彦山線の早期全面復旧と長期的な運行の確保を求める決議」を全会一致で議決いたしました。これはJR日田彦山線の沿線自治体である日田市議会と添田町議会との合同の取り組みです。12月26日、3市町村の議長が代表して、JR九州本社にて青柳俊彦社長宛の要望書として、決議文を前田勇人専務執行役員に手渡ししました。(写真)



決議文の詳細は東峰村ホームページの「議会の取り組み」をご覧ください。



▲携帯からはQRコードを読み込んでアクセスできます。



## 編集後記

平成最後の年末は今シーズン初の寒波に見舞われました。12月初旬には季節外れのツツジが隣の庭に咲き始めていたので、暖冬だろうと決め込んでいたのが見事ひっくり返り、慌ててスノータイヤに履きかえ、スコップを引っ張り出す始末。今更ながら人間の思惑など自然の中ではとるに足らぬ事と思ひ知らされました。大水害から一年半が過ぎ、復旧もかなり進んできたように思えます。普通の生活が送れる事がどんなに幸福かと、かみしめる正月でした。

この一年が皆様にとって穏やかに健やかな年となりますように、ご祈念申し上げます。

(梶原光春)

|      |        |       |        |
|------|--------|-------|--------|
| 議長   | 佐々木 紀嘉 | 発行責任者 | 佐々木 紀嘉 |
| 副議長  | 梶原 伯夫  | 副委員長  | 梶原 光春  |
| 委員長  | 高倉 寛視  | 委員長   | 高倉 寛視  |
| 特別委員 | 高橋 弘展  | 特別委員  | 高橋 弘展  |